

# 気候変動への対応等のための社会資本整備 財源の十分かつ安定的な確保について

【担当省庁】内閣官房、内閣府、総務省、国土交通省、農林水産省、財務省

## 気候変動を踏まえた防災・減災対策等の社会資本整備財源の 十分かつ安定的な確保

◆ 近年、気候変動等によるこれまでに経験したことのない豪雨等の頻発に伴う土砂災害・風水害が増加しており、東日本大震災後の地震・津波想定の見直しをはじめ、これまでの想定を上回る災害リスクへの対応が求められている。

このような気候変動型の災害リスクの増大に対応していくためには、従来の防災・減災のあり方を根本的に見直し、治山・治水・内水・砂防・地震・津波等を含めた総合的な防災・減災対策に取り組むことが急務となっている。

また、長年にわたって築かれてきた社会資本が、今後大量に更新時期を迎えることから、生活や経済の基盤であるインフラが機能不全に陥らないよう公共施設等の更新・統廃合・長寿命化等を計画的に進めることが急務である。

このため、地方公共団体の円滑な事業実施が可能となるよう、緊急性の高い対策へ集中的に投資する予算枠の創設も含め、**社会資本整備財源を十分かつ安定的に確保**するとともに、**緊急防災・減災事業債を恒久的な制度とした上で、災害の発生状況等を踏まえた拡充**を図っていただきたい。

<国土交通省の概算要求>

◎ 公共事業関係費 6兆121億円（26年度予算額5兆1,746億円）

<農林水産省の概算要求>

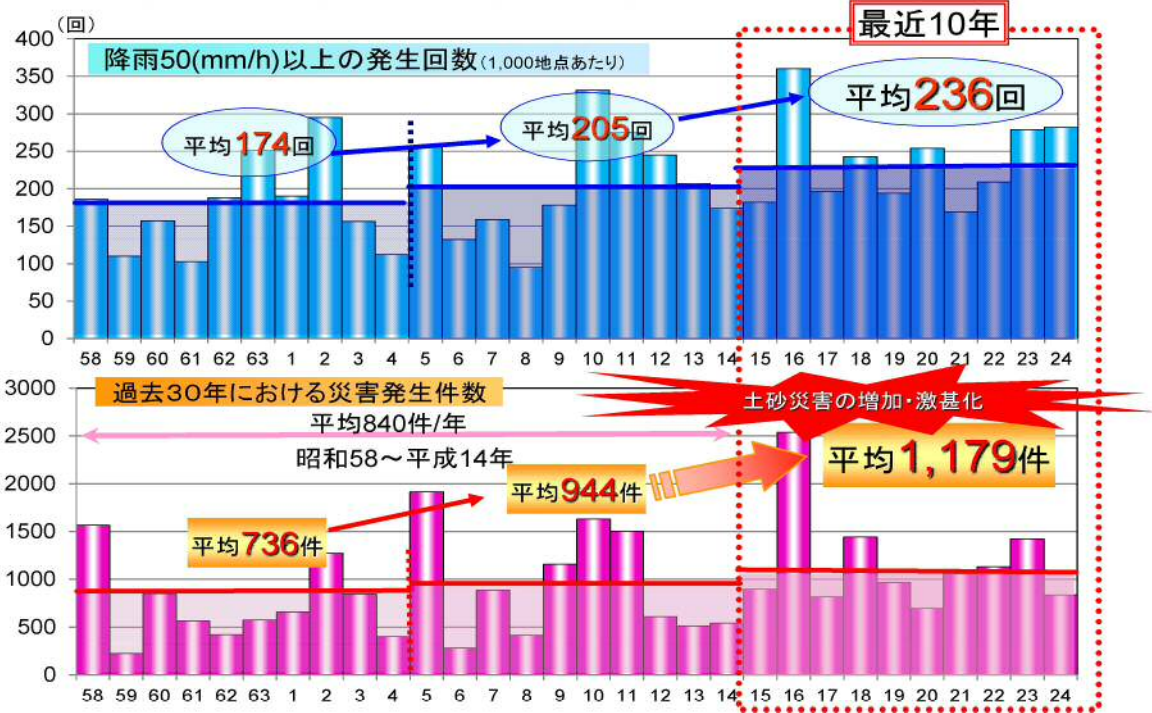
◎ 公共事業関係費 8,038億円（26年度予算額6,578億円）

### 【現状・課題等】

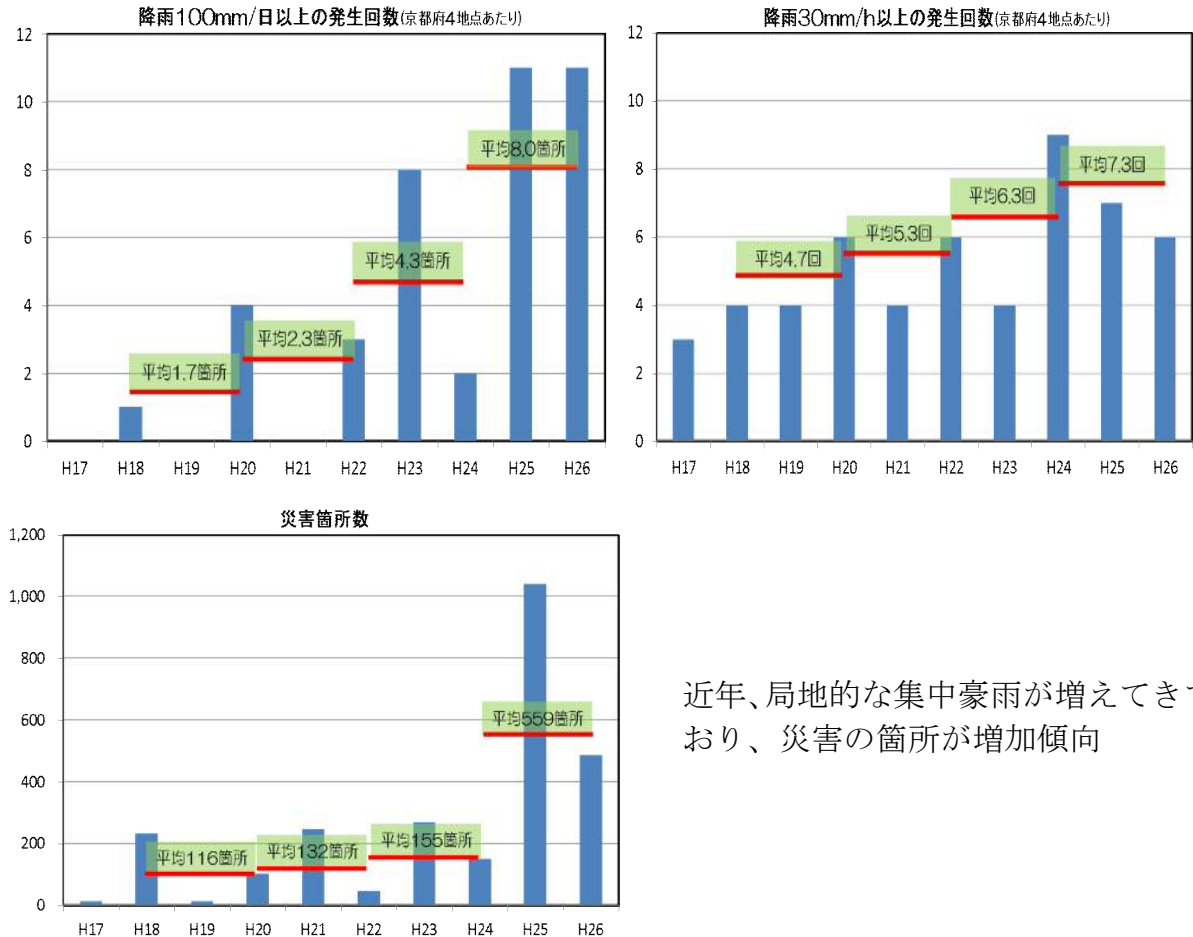
- ◎ 緊急防災・減災事業債
  - ・平成26年度地方債計画 5,000億円
  - ・充当率100% 交付税措置率：元利償還金の70%
  - ・平成23年度に創設され、平成28年度まで延長

◎ 雨の降り方の変化と土砂災害(国土交通省資料)

- ・1時間降水量の年間発生回数
- ・全国約1300地点のアメダスより集計した1000地点あたりの回数

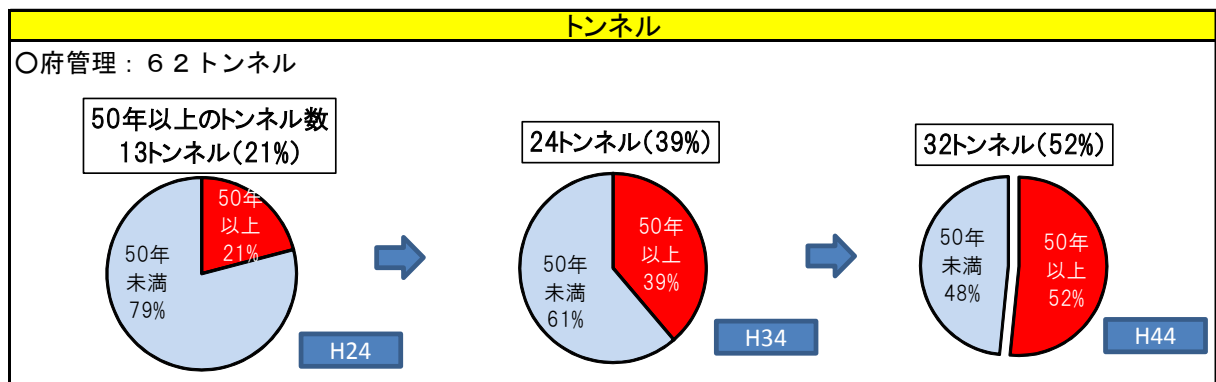
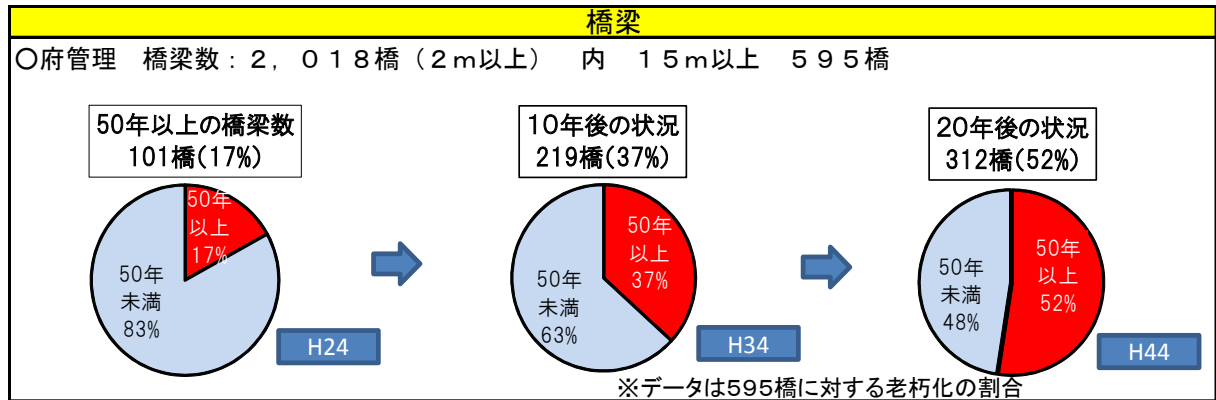


◎ 京都府における近年の雨の降り方の変化と災害(京都府建設交通部作成資料)



近年、局地的な集中豪雨が増えてきており、災害の箇所が増加傾向

◎ 京都府のインフラの状況（建設交通部所管分）



**その他の主な府管理施設**

◎ 道路	257路線	2,160km
◎ 河川	377河川	1,852km（ダム2箇所、排水機場3箇所等）
◎ 砂防	砂防設備4,	150箇所、地すべり防止施設19箇所、急傾斜地崩壊防止施設308箇所
◎ 公園	12公園	
◎ 港湾	3港湾	護岸、栈橋等 260箇所
◎ 海岸	232km	

【京都府の担当課】

政策企画部	戦略企画課	075-414-4334
府民生活部	防災・原子力安全課	075-414-5610
文化環境部	水環境対策課	075-414-5206
農林水産部	農村振興課	075-414-5053
	水産課	075-414-4994
	森林保全課	075-414-5028
建設交通部	道路計画課	075-414-5246
	河川課	075-414-5282
	砂防課	075-414-5311
	港湾課	075-414-5302
	都市計画課	075-414-5334